

2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月8日
東

上場会社名 JIG-SAW株式会社 上場取引所
コード番号 3914 URL <https://www.jig-saw.com/>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山川 真考
問合せ先責任者(役職名) 取締役 (氏名) 鈴木 博道 (TEL) 03-6262-5160
四半期報告書提出予定日 2023年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	801	9.0	216	28.2	217	31.6	145	23.2
2022年12月期第1四半期	735	17.7	168	59.5	165	60.8	117	73.4

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 148百万円(5.0%) 2022年12月期第1四半期 141百万円(59.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	21.94	21.74
2022年12月期第1四半期	17.81	17.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	3,245	2,425	73.1
2022年12月期	3,118	2,269	71.3

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 2,372百万円 2022年12月期 2,224百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年12月期の配当予想につきましては、現在未定であります。

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上高が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないデータコントロール事業の業容拡大やグローバルIoTビジネスの大きな成長及び自動運転ソフトウェアの商用化等への事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	6,751,000株	2022年12月期	6,751,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	124,736株	2022年12月期	124,696株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	6,626,277株	2022年12月期 1 Q	6,623,637株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、6G/Beyond 5Gに向けた議論が各国で始まるなど、情報通信ネットワークの発展に伴い、「サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたサイバー・フィジカル・システム」を通じ、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会（Society 5.0）実現へと向かっております（出典：総務省「令和4年版 情報通信白書」）。

このような環境のなかで当社グループは、独自に保有する基盤コア技術をベースに、システムマネージ、クラウドマネージ、IoT、IIoT分野に加え、あらゆる物質や細胞までにリーチするIoE（Everything）、そして人間の能力を拡張させるIoA（Abilities）分野における研究開発・ビジネスデザイン及びプロジェクトを、国内だけではなくグローバルにおいても着実に進めております。

当社のクラウド・IoT分野全体を包括するデータコントロール事業の売上は、安定した完全ストック型ビジネス（サブスクリプションモデル及びリカーリングモデル）の継続課金売上と一時的なスポット売上で構成されております。当第1四半期連結累計期間においても、引き続き月額課金案件の受注獲得を推し進め、前年同期と比較して月額課金売上は70,255千円純増しました。これにより、上場以来33四半期連続で過去最高の月額課金売上のプラス成長となり、ウクライナをめぐる国際情勢の長期化及び世界的な金融不安による為替・金利動向などの影響を受けることなく極めて堅調に推移しております。なお、過去最高を超える金額の先行投資を継続して実施しておりますが、当第1四半期連結累計期間における営業利益の前年同期増減率は+28.2%、経常利益の前年同期増減率は+31.6%と大幅な増加となりました。

昨今、IoT市場では、製造機器のサブスクリプションといえるEaaS（Equipment as a service）が注目を集めており、大量生産・大量出荷型モデルからの転換が起り始めています。このEaaSは、当社がかねてより予測し、志向し続けたIoTビジネスのあり方そのものであり、IoTエンジン「NEQT0」をベースにEaaSを支えるNo.1コアエンジン（IoTソフトウェア）のライセンス及びOEM提供を目指してまいりました。その取り組みを強化させるべく、米国の電子制御メーカーHoneywellグループのTridium社との提携等を契機に、新規プロジェクトが実行フェーズに入っております。また、各種クラウドを包括管理する「JIG-SAW PRIME」は、データコントロール事業に密接に関連し、重要な社会インフラとなっているクラウド環境における企業ニーズを背景に前年同期と比較して取引総額が322,513千円（前年同期比92.2%増）拡大しました。さらに、視覚再生プロジェクト「NEW VISION」につきまして、動物行動解析分野におけるAI算出によるベクトルデータをベースとしたアルゴリズム・システムが日本国特許査定を受領しました。引き続き、今後の高い事業成長を実現すべく、将来に向けた先行投資の金額は過去最高を更新し、前年同期と比較し約28,000千円増加となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高801,481千円（前年同期比9.0%増）、営業利益216,588千円（前年同期比28.2%増）、経常利益217,458千円（前年同期比31.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益145,363千円（前年同期比23.2%増）となりました。

なお、当社グループはデータコントロール事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は、2,457,781千円（前連結会計年度末比145,120千円増）となりました。これは主に、その他に含まれる前払費用が増加（前連結会計年度末比182,741千円増）、売掛金が増加（前連結会計年度末比87,443千円増）した一方で、現金及び預金が減少（前連結会計年度末比125,186千円減）したことによるものであります。

また、固定資産は、788,004千円（前連結会計年度末比18,095千円減）となりました。これは主に、有形固定資産が減少（前連結会計年度末比10,645千円減）、繰延税金資産が減少（前連結会計年度末比5,066千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、3,245,786千円となり、前連結会計年度末に比べ127,025千円増加いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は、785,121千円（前連結会計年度末比15,121千円減）となりました。これは主に、買掛金が増加（前連結会計年度末比78,346千円増）した一方で、未払法人税等が減少（前連結会計年度末比47,884千円減）、流動負債のその他が減少（前連結会計年度末比45,583千円減）したことによるものであります。

また、固定負債は、35,322千円（前連結会計年度末比14,050千円減）となりました。これは主に、長期借入金が減少（前連結会計年度末比15,000千円減）したことによるものであります。

以上の結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、820,443千円となり、前連結会計年度末に比べ29,171千円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、2,425,342千円（前連結会計年度末比156,197千円増）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が増加（前連結会計年度末比145,363千円増）したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

ストック型ビジネスの堅調な推移により現時点において過去最高の売上が見込まれる状況ですが、国内だけにとどまらないデータコントロール事業の業容拡大やグローバルIoTビジネスの大きな成長及び自動運転ソフトウェアの商用化等への事業投資に関する不確定な要素が多く、適正かつ合理的な業績予想の策定が困難であるため、業績予想を記載しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,363,407	1,238,220
売掛金	834,503	921,947
その他	115,165	298,189
貸倒引当金	△415	△575
流動資産合計	2,312,661	2,457,781
固定資産		
有形固定資産	254,909	244,264
無形固定資産	38,699	36,745
投資その他の資産		
投資有価証券	125,435	127,266
敷金及び保証金	234,388	232,898
繰延税金資産	114,238	109,172
その他	38,968	38,198
貸倒引当金	△540	△540
投資その他の資産合計	512,490	506,995
固定資産合計	806,099	788,004
資産合計	3,118,760	3,245,786
負債の部		
流動負債		
買掛金	414,974	493,321
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	120,337	72,452
その他	204,930	159,346
流動負債合計	800,242	785,121
固定負債		
長期借入金	45,000	30,000
その他	4,373	5,322
固定負債合計	49,373	35,322
負債合計	849,615	820,443
純資産の部		
株主資本		
資本金	351,107	351,107
資本剰余金	310,580	310,580
利益剰余金	2,070,343	2,215,707
自己株式	△566,158	△566,371
株主資本合計	2,165,873	2,311,023
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,647	16,200
為替換算調整勘定	43,012	45,143
その他の包括利益累計額合計	58,659	61,343
新株予約権	44,611	52,975
純資産合計	2,269,145	2,425,342
負債純資産合計	3,118,760	3,245,786

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	735,570	801,481
売上原価	225,583	242,018
売上総利益	509,986	559,463
販売費及び一般管理費	341,025	342,874
営業利益	168,961	216,588
営業外収益		
受取利息	8	21
受取配当金	44	1,225
その他	12	6
営業外収益合計	66	1,253
営業外費用		
支払利息	67	42
為替差損	3,587	339
その他	89	0
営業外費用合計	3,744	383
経常利益	165,282	217,458
税金等調整前四半期純利益	165,282	217,458
法人税、住民税及び事業税	44,283	65,408
法人税等調整額	3,016	6,686
法人税等合計	47,299	72,094
四半期純利益	117,983	145,363
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,983	145,363

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
四半期純利益	117,983	145,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,796	552
為替換算調整勘定	18,247	2,130
その他の包括利益合計	23,043	2,683
四半期包括利益	141,026	148,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	141,026	148,047
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、データコントロール事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。